



#に育つ射和っ子

学校だより 特別号
発行 松阪市立射和小学校
令和7年3月4日
児童数 169人

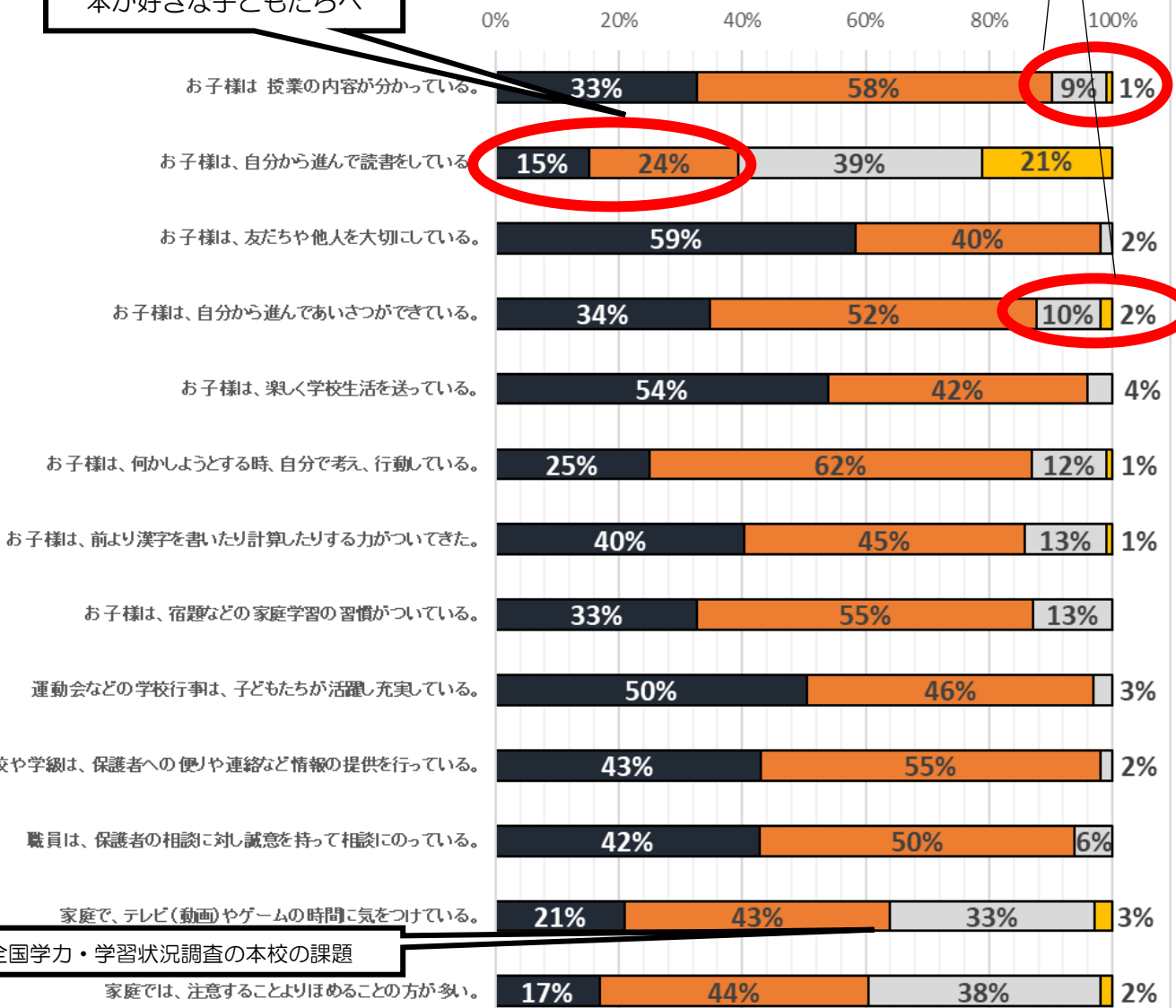
学校評価アンケート結果

昨年末から1月にかけて、お願いさせていただきました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので報告させていただきます。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。併せてお子様に実施しましたアンケート結果も掲載させていただきます。この結果につきましては、2月21日（金）に開催されたいざわCS協議会（学校運営協議会）にて評価をいただきました。今回の学校評価を、次年度の教育につなげていきたいと考えています。

より安心・安全な学校づくりをめざす必要があります

2024年度 保護者アンケート結果(回答率75.4%)

本が好きな子どもたちへ



全国学力・学習状況調査の本校の課題

■あてはまる ■だいたいあてはまる □あまりあてはまらない ■あてはまらない

【参考】保護者アンケート結果の推移(R2～R6) 肯定的な回答の割合:%

	質 問	R2	R3	R4	R5	R6
1	お子様は 授業の内容が分かっている。	92	91	92	93	91
2	お子様は、自分から進んで読書をしている。	51	51	42	30	39
3	お子様は、友だちや他人を大切にしている。	98	97	98	100	98
4	お子様は、自分から進んであいさつができています。	85	86	87	83	87
5	お子様は、楽しく学校生活を送っている。	96	95	98	97	96
6	お子様は、何かしようとする時、自分で考え、行動している。	85	82	89	82	87
7	お子様は、前より漢字を書いたり計算したりする力がついてきた。	92	94	90	91	86
8	お子様は、宿題などの家庭学習の習慣がついている。	91	90	87	87	87
9	運動会などの学校行事は、子どもたちが活躍し充実している。	94	95	99	99	96
10	学校や学級は、保護者への便りや連絡など情報の提供を行っている。	95	95	96	91	98
11	職員は、保護者の相談に対し誠意を持って相談にのっている。	93	95	93	91	92
12	家庭で、テレビ(動画)やゲームの時間に気をつけている。	66	76	68	70	64
13	家庭では、注意することよりほめることの方が多い。	66	68	59	55	60

2024年度 児童アンケート結果

	質 問	肯定的な回答の割合 (%)
1	学校生活が楽しい。	95
2	学校で勉強していることがよく分かる。	92
3	図書室や教室の本、家にある本をすすんで読む。	64
4	学校や近所で知っている人に会ったら、すすんであいさつしている。	93
5	友だちと仲よくしている。	98
6	学校生活のきまりや約束を守って生活している。	96
7	学校がきれいになるように掃除している。	98
8	運動会や文化祭、集会等が楽しみである。	90
9	決めたテレビ(動画)やゲームの時間を守っている。	70
10	おうちでは注意されることよりほめられることが多い。	75

●肯定的な回答(あてはまる、だいたいあてはまる)の割合が比較的高い項目

- ・授業の内容がわかる 児童92% 保護者91%
- ・友だちを大切にしている 児童98% 保護者98%
- ・楽しく学校生活を送っている 児童95% 保護者96%
- ・学校行事に満足している 児童90% 保護者96%

ご家庭や地域で大切に育てていただいているからこそ、友だちを大切にできるのだと考えます。

●肯定的な回答の割合が比較的低い項目

- ・注意するよりほめることが多い 児童75% 保護者60%

昨年よりも保護者の評価が高くなっています。また、保護者の評価以上に子どもたちはほめてもらっていると感じているようです。引き続き、いろいろな機会や場面でぜひほめてあげてほしいと思います。

- ・テレビ・ゲーム等の時間 児童70% 保護者64%

昨年度と比べると、児童の評価は少し改善が見られます。一方で保護者アンケートでは、過去5年間でいちばん低い評価となりました。引き続きアウトメディアの取組等、ご協力お願いいたします。

- ・進んで本を読む 児童64% 保護者39%

朝読や図書ISGによる活動を進めていることもあり、子どもたちの評価は昨年よりよくなっています。引き続き、図書室の活用も含め、家庭との連携を進めながら改善を図る必要があると考えます。特にこの課題については、いざわCS協議会でも話題にあがりました。

- ・子どもや大人の「活字離れ」が進んでいる。本を読むことは、文章を書く力につながっていく。子どもたちの心を育てる読書活動をぜひ進めていきたい。
- ・保護者と子どもの、読書に対する意識がリンクしている。大人の働きかけで子どもは変わる。小さいころからの読み聞かせや、保護者と子どもと一緒に本を借りることができる部屋や機会を作る、司書の効果的な活用やチラシの配布等、いろいろな「しかけ」を作っていく必要がある。
- ・保護者の意識が大切なのはわかるが、なかなか時間が取れない家庭もある。家で本を読む環境にある子どもとそうでない環境の家もある。

アンケート結果をもとに課題を改善し、よりよい学校にすべく努力してまいります。今後ともご理解とご協力お願いいたします。